

事業所名		もくれんジェニー				支援プログラム		作成日		2025 年		3 月		18 日	
法人（事業所）理念		輝け人間の尊厳 示そう人の世に熱と光													
支援方針		子どもから大人に移り変わる、多感な時期に子を築きながら「友（共）に生き」「友（共）に成長」していける空間づくりを目指します。													
営業時間		9 時		30 分から		18 時		0 分まで		送迎実施の有無		あり なし			
		支 援 内 容													
本人支援	健康・生活	・ジェニーでは日常での基本的な生活スキルの定着、習慣化を目指しています。学校、戸外から帰って来た際は手洗い・うがいする事や、衣服の着替えを畳む等生活で欠かせない大切なスキルの獲得が出来る支援、関りをします。 ・クッキングやおやつ作りを通して、調理器具の使用方法を知ったり、自分たちで料理をする事の「喜び」や「楽しさ」を味わえるようにします。 ・利用した際の健康チェックはもちろん、体の異変に感じた時には子ども達自身が誰かに発信できる力がつくように支援します。													
	運動・感覚	・子ども達が本来保有している、視覚、聴覚などの感覚を活かした遊び（サーキット遊びや模倣遊び、公園活動等）を提供し、子どもたちの更なる能力の向上に努めます。・活動（工作や座卓での遊び）を取り組む際にも姿勢を保持出来るように声掛けをし 日常必要とする些細な習慣事を意識して子ども達自身で出来るようにします。・またブロックやLego等の知育玩具を通して、想像力を豊かにし、指先の使い方や筋力向上に繋がります。 ・感覚の過敏や鈍麻には配慮し、その子どもが負担なく活動できる環境を用意します。													
	認知・行動	・子ども達が自分の目で見て日常動作が出来るように（ロッカーの場所のネームプレートや収納場所の絵カード、絵カードを使ったスケジュール等）環境を整え、子ども達自身で行動できるようにしていきます。 ・工作やワークショップを通して数量、形の大きさ、重さ、色の違いなどの習得に繋がっていきます。													
	言語 コミュニケーション	・言葉が出ない子どもや、障がいや重たい子ども達にはベビーサインや、指差し、動作で思いや気持ちを汲み取りその子どもの気持ちや意思に寄り添えるようにします。 ・遊びや集団活動の中でその場に合った言葉や伝え方をその都度、子ども達には伝えていき日々の生活の中での言葉の獲得に努めます。また日常でのコミュニケーション能力の向上にも繋がっていきます。 ・朝の会やSSTを通して相手に何かを伝える大切さを知ってもらいます。													
	人間関係 社会性	・子ども達がジェニーに安心して通所できるように、職員と子どもたちの信頼構築に努めます。 ・遊び等を通してルールや決まりを知り、社会性が芽生えるように支援していきます。 ・集団での活動や遊びを通して、一人ではなく、みんなでなにかする「楽しさ」を感じられるように支援していきます。（外出活動や、クッキング、集団遊び等）													
家族支援		・保護者面談の開催・保護者交流会や勉強会実施 ・ペアレントトレーニングの実施 ・親子遠足						移行支援		中高生の法人内の障がい福祉サービスの体験利用などの提供等					
地域支援・地域連携		子ども食堂、マルシェ、学童と交流 子育て支援施設との連携						職員の質の向上		自立支援協議会（子ども部会）や障がい児施設部会の参画 法人内外の研修への参加					
主な行事等		一泊旅行（3月）お花見（4月）親子遠足（5月）プール（7.8月）縁日（8月）ハロウィン（10月）ふれあい祭り（10月）クリスマス会（12月）餅つき（1月） 年二回子どもマルシェ 学童保育との合同活動													